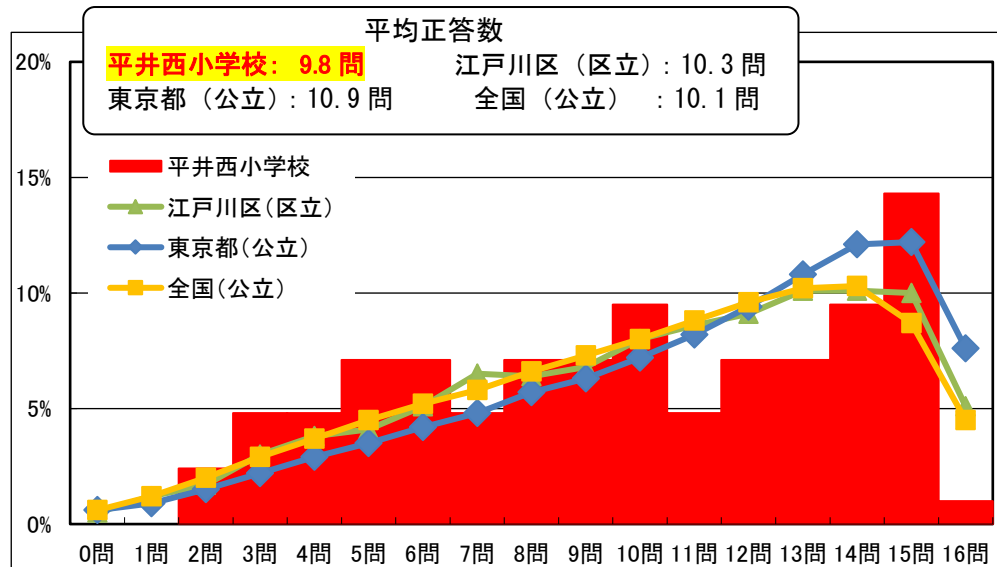


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 平井西小学校

正 答 数 分 布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算 数	上位		下位	
	A層 14～16 問	B層 12～13 問	C層 8～11 問	D層 0～7 問
平井西小学校	26.2	14.2	28.5	31
江戸川区 (区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都 (公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国 (公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

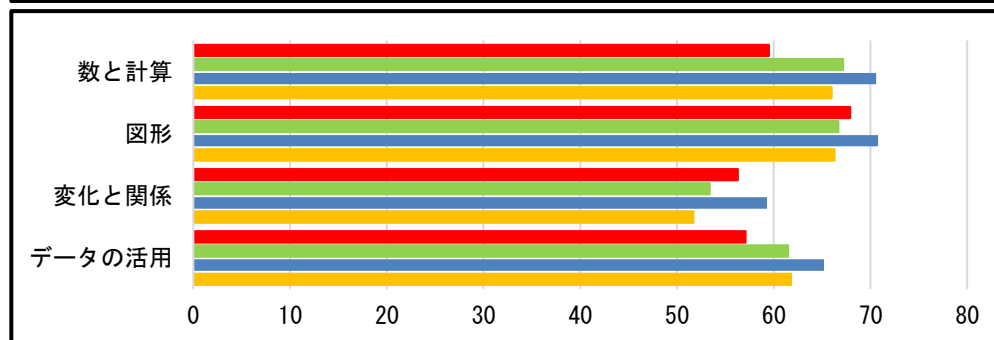
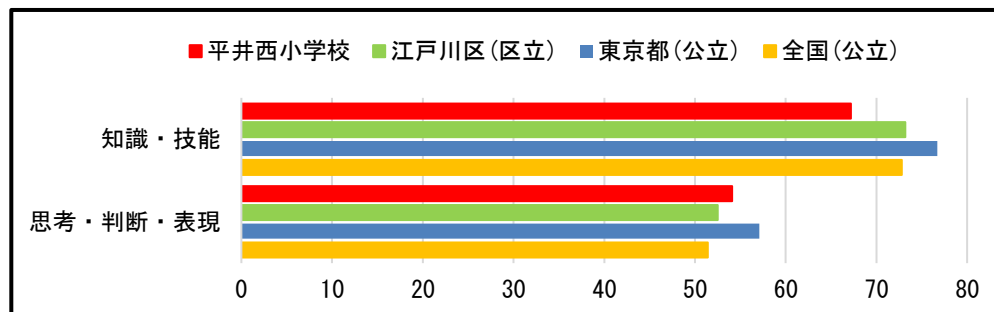
【平均正答率の差】

平井西小学校	61%
江戸川区 (区立)	64%
東京都 (公立)	68%
全国 (公立)	63.4%
都との差	2.4 ポイント

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

「領域別」の結果から、「知識・技能」、「数と計算」、「データの活用」は平均値より低く、「思考・判断・表現」、「図形」、「変化と関係」は東京都平均よりは低いが、全国・江戸川の平均は上回っている。このことから、問題文の読み取りと、資料の分析と整理が苦手だと考えられる。算数の読み取りでは、「一字一句きちんと認識する読み方を身に付ける」ことができるよう、授業で扱う問題を正確に音読する時間を確保する。また、答えを導くために必要な数値や情報を整理できるように、問題文の数やキーワードにマークをつけ、問題を解く見通しをもってから問題に取り組む活動を取り入れる。また、自分の考えを説明する、友達の考えを聞く、疑問があれば質問するといった、学び合う時間をしっかりと確保できるようにする。